

# 令和6年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和6年4月1日現在)

## 1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡市文化振興事業団	所管課	文化国際課
所在地	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス5階		
電話番号	(019) 621-5102	設立年月日	平成9年10月15日
代表者	理事長 三浦 宏	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	盛岡市における文化の振興を図ることにより、市民の心豊かな生活の実現に資することを目的とする。		
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 音楽、舞踊、演劇、美術その他の芸術文化に関する鑑賞事業</li> <li>② 文化、歴史及び社会教育に関する教育普及事業</li> <li>③ 市民が行う文化活動の育成及び支援に関する事業</li> <li>④ 文化、教育等に関する調査研究、情報の収集及び提供事業</li> <li>⑤ 歴史、芸術、民俗等に関する資料収集、調査研究、保管、展示等の事業</li> <li>⑥ 生涯学習、社会教育の推進及び活動の支援に関する事業</li> <li>⑦ 文化及び社会教育関係施設等の管理運営事業</li> <li>⑧ その他事業団の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>		

## 2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス <a href="https://www.mfca.jp/">https://www.mfca.jp/</a> )
	<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(定款、設立趣意書等)
ホームページ以外での情報提供の方法	情報誌「ぼけっと」、自主事業一覧、事業チラシ、X(旧Twitter)、YouTube

## 3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	理事	1	1	0	8	9	
	監事	0	0	0	2	2	
	計	1	1	0	10	11	
職員	管理職	正職員	6	2	0	0	16
		臨時職員	10	—	—		
	一般職	正職員	8	0	0	0	66
		臨時職員	58	—	—		
	計	正職員	14	2	0	0	82
		臨時職員	68	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 5	常勤職員の平均年齢	46.8	歳	
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部市の給与体系を準用)					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	100,000 千円	本市出資等額	100,000 千円	本市出資等割合	100.0 %
主な出資等者					/
① 盛岡市			(出資等割合	100 %)	
②			(出資等割合	%)	
③			(出資等割合	%)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
令和6年度における当市の財的関与の状況	補助金	104,463 千円	(収入全体の	11.0 %)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	716,015 千円	(収入全体の	75.7 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 芸術文化の鑑賞機会の充実と担い手への支援事業	(令和6年度予算額	49,205	千円)		
② 芸術文化を支える人材や団体の育成及び環境の充実	(令和6年度予算額	45,289	千円)		
③ 芸術文化の力を活用したまちづくり事業	(令和6年度予算額	4,202	千円)		
④ 芸術文化の情報収集発信事業	(令和6年度予算額	5,765	千円)		
負担金・交付金内訳					
①	(令和6年度予算額		千円)		
②	(令和6年度予算額		千円)		
委託料内訳					
①	(令和6年度予算額		千円)		
②	(令和6年度予算額		千円)		
指定管理料内訳					
① 盛岡市民文化ホール指定管理料	(令和6年度予算額	211,327	千円)		
② 盛岡劇場指定管理料	(令和6年度予算額	116,075	千円)		
③ 都南文化会館指定管理料	(令和6年度予算額	112,325	千円)		
④ 渋民文化会館指定管理料	(令和6年度予算額	72,895	千円)		
⑤ 盛岡市先人記念館指定管理料	(令和6年度予算額	62,150	千円)		
⑥ 原敬記念館指定管理料	(令和6年度予算額	25,191	千円)		
⑦ 石川啄木記念館指定管理料	(令和6年度予算額	16,611	千円)		
⑧ 盛岡てがみ館指定管理料	(令和6年度予算額	22,357	千円)		
⑨ 河南公民館指定管理料	(令和6年度予算額	24,125	千円)		
⑩ 都南公民館指定管理料	(令和6年度予算額	25,559	千円)		
⑪ 渋民公民館指定管理料	(令和6年度予算額	27,400	千円)		
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)	
		盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、都南文化会館、渋民文化会館、河南公民館、都南公民館、渋民公民館			
		利用料金収入(令和6年度予算額)	72,800	千円	
		法人の収入全体の	7.7	%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、都南文化会館、渋民文化会館、盛岡市先人記念館、原敬記念館、石川啄木記念館、盛岡てがみ館、河南公民館、都南公民館、渋民公民館
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①自主事業経費 (文化会館)	千円	計画	84,816	66,565	70,544
		実績	64,351	56,149	58,072
②指定管理施設の 利用料金	千円	計画	70,522	70,522	70,522
		実績	45,784	57,877	67,749
③施設管理費	千円	計画	691,413	691,413	691,413
		実績	572,868	631,466	648,574
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。  
 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。  
 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円、%、人)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収支の状況	総収入	897,781	934,087	927,431
	当期収入(A)	795,226	846,435	859,003
	基本財産運用収入	2	2	2
	会費収入(入会金収入を含む)	1,158	1,074	713
	補助金等収入	105,369	106,912	154,524
	うち市からの補助金等(B)	99,971	100,912	100,535
	事業収入(C)	687,607	698,804	701,646
	うち自主事業収入	75,492	87,844	101,249
	うち市からの委託料(D)	0	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	612,115	610,960	600,397
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	1,090	39,643	2,118
	前期繰越額	102,555	87,652	68,428
	総支出	810,129	865,659	893,487
	当期支出	810,129	865,659	893,487
	人件費	286,705	291,873	300,217
事業費(人件費除く)	515,200	565,167	581,167	
管理費(人件費除く)	3,511	3,841	9,576	
資産取得支出	4,713	4,346	2,527	
繰入金支出	0	0	0	
その他の支出	0	432	0	

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収支の状況	当期収支差額	▲ 14,903	▲ 19,224	▲ 34,484
	次期繰越収支差額	87,652	68,428	33,944
正味財産の状況	経常収益(F)	795,226	846,435	857,009
	経常費用	809,509	864,520	886,219
	当期経常増減額	▲ 14,283	▲ 18,085	▲ 29,210
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	5,769
	当期経常外増減額	0	0	▲ 5,769
財産の状況	資産(G)	322,135	317,517	278,056
	うち固定資産	160,990	164,606	164,561
	うち流動資産(H)	161,145	152,911	113,495
	負債	99,742	113,640	109,268
	うち固定負債	21,584	24,258	24,527
	うち流動負債(I)	78,158	89,382	84,741
	正味財産(J)	222,393	203,877	168,788
	うち当期正味財産増減額	▲ 14,914	▲ 18,516	▲ 35,089
財務指標	流動比率(H/I)	206.1	171.0	133.9
	自己資本比率(J/G)	69.0	64.2	60.7
	職員一人当たり収益高(F/(K+))	9,355.6	9,618.6	9,738.7
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	12.5	11.9	11.7
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/O)	89.0	87.4	85.5
組織の状況	常勤役員数(K)	1	1	1
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	84	87	87
	うち常勤職員数	84	87	87
	うち本市OB	7	7	7
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	17	17	17
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0	9.1	9.1
	管理職員比率	20.2	19.5	19.5
事業指標	① 盛岡市民文化ホール利用人数	115,908	175,577	203,230
	② 盛岡劇場利用人数	23,598	33,082	37,746
	③ 都南文化会館利用人数	24,163	42,069	50,678
	④ 渋民文化会館利用人数	12,082	20,996	25,386
	⑤ 先人記念館利用人数	6,454	7,315	7,918
	⑥ 原敬記念館利用人数	4,754	5,471	5,353
	⑦ 石川啄木記念館利用人数	4,442	6,385	891
	⑧ 盛岡てがみ館利用人数	3,564	3,601	4,911
	⑨ 河南公民館利用人数	13,210	18,335	22,675
	⑩ 都南公民館利用人数	37,180	50,792	57,780
	⑪ 渋民公民館利用人数	7,829	13,803	18,494

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	① 財団総務管理費	74,115	80,498	80,121
	② 芸術鑑賞事業費	17,935	12,493	10,974
	③ 文化会館活動事業費等	6,528	6,528	8,037
	④ 情報誌発行業務	1,393	1,393	1,403
	⑤ エネルギー価格高騰対策	0	0	43,900
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	① 盛岡市民文化ホール指定管理料	168,087	163,836	160,237
	② 盛岡劇場指定管理料	90,836	91,716	91,097
	③ 都南文化会館指定管理料	90,009	90,895	90,470
	④ 渋民文化会館指定管理料	55,529	56,981	57,438
	⑤ 先人記念館指定管理料	62,291	62,512	62,570
	⑥ 原敬記念館指定管理料	23,905	25,321	25,285
	⑦ 石川啄木記念館指定管理料	23,079	23,117	19,366
	⑧ 盛岡てがみ館指定管理料	21,907	21,907	21,847
	⑨ 河南公民館指定管理料	25,352	24,838	23,820
	⑩ 都南公民館指定管理料	27,726	26,711	25,394
	⑪ 渋民公民館指定管理料	23,394	23,122	22,868
	貸付金額			
損失補償額				
債務保証額				

#### 令和5年度決算の概要

・燃料費や光熱水費の支出の増加が、施設の管理運営費を圧迫した。特に盛岡市民文化ホールの熱供給料の高騰が大きく影響した。

・燃料費や光熱水費等の経費削減に努めたほか、利用者サービスの向上や、サービスの低下を招かないよう、公的なガイドライン等に基づき、可能な範囲かつ慎重に公益目的事業を行った。

・文科省の受託事業や助成金を積極的に獲得し、外部資金の導入に努めた。

・基本財産及び運用財産を適正に管理・運営し、健全な法人運営を行った。

## 7 所管課による財務状況についての点検評価結果

C	A:良好、B:概ね良好、C:改善を要する、D:大いに改善を要する
(コメント) 令和3年度から令和5年度決算まで赤字であり、減価償却前も赤字となっており、改善を要する。人件費の高騰により、支出が増加したことにより、令和5年度決算は赤字となったが、赤字幅は繰越収支差額の範囲内となっており、公益財団法人として基本財産及び運用財産の適正な管理、運用に努めている。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和4年度決算において黒字である。		○
2	令和5年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		
4	令和5年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」